

おぬま さおり  
**小沼 早織** さん(雅号:佐織)

2013年に七夕絵どうろう制作講習会を受講したことをきっかけに、仕事や子育ての傍らで絵どうろう制作を続ける若手絵師、小沼早織さん。市内小学校で行われる絵どうろう制作体験では、講師としても活動しています。



ゆざわのまち・ひと・しごと  
**おらがひと**

# 伝統文化の担い手として、伝承者として

——もともと絵どうろうの制作に興味を持っていましたか

私自身、「湯沢市の文化に携わる活動がしたい」という思いを持っていました。また、職人さんの物づくりや伝統工芸などに関心があり、絵を描くことも好きだったので、本格的に挑戦してみようと思いました。

——絵を描くときに、意識していることはありますか

お祭りに飾られる絵なので、図案や色彩に華やかさを持たせることを意識して描いています。また、好きな図柄を取り入れたり、好きな漫画家の絵を参考にするなど、楽しんで描くということを大切にしています。

——絵どうろう制作の魅力は何ですか

描き手が一堂に会して、完成した絵を木枠に張り付ける作業があるのですが、美しい作品が並べられた光景はまるで美術館に来たかのようで、

描き手しか体感できない、毎年楽しみにしている場面です。また、皆さんの上手な絵を直に見て、自分もさらに頑張りたいと刺激をもらっています。

——今後の目標を教えてください

七夕絵どうろうの歴史や伝統は守りながらも、新しいことに挑戦して、

楽しみながら制作を続けていきたいと思っています。

絵師としての成長はもちろん、講師の活動を通じて、若い人たちが「自分もやってみたい」と思ってもらえるように描き手の視点から絵どうろう制作の魅力を伝えていきたいですね。

